

地域のもりから学ぶ森林づくり 平成23年度 第3回 森林教室

7月14日(木)の森林教室のタイトルは「森林のいきものをみてみよう」

降水確率70%の雨がそぼ降る中、定山溪の森に到着！森づくりの手始めの作業であるササ刈り作業(地拵え)の実演のあと堀川林業の小西さんから地拵えの重要性や森林づくりについて説明してもらいました。

その後、前回6月29日の森林教室で設置したピットフォールトラップを回収し、森を後にしました。

会場を定山溪中学校の体育館に移して、森林総合研究所の平川主任研究員から、中学生から寄せられた質問に沿って、生態系の変化や解釈の方法についてお話しいただきました。

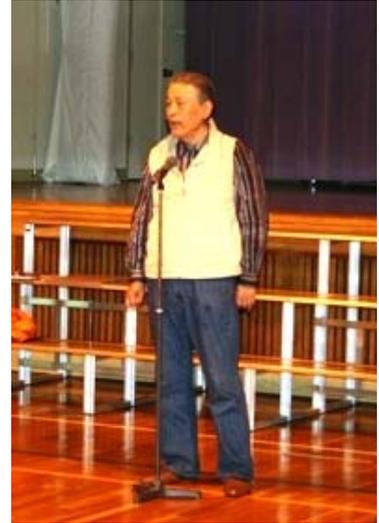
続いて、山からとってきたピットフォールトラップの虫を回収して環境の違いによって生息する虫の種類や量が変わることを体験しました。



雨の中で、森づくり作業の解説



刈り払い機を使った作業の実施を見学



会場を定山溪中学校の体育館に移して、改めて開会式。

司会は落合自然再生指導官、開会挨拶は所長、みずもり会議の上野代表から森づくりに力強いお言葉をいただきました。



森林総研北海道支所の平川さんから、価値判断と事実判断の違いや生態系の考え方を話してもらいました。



良いか悪いかだけの判断ではなく、理性的に考える訓練が大事なのです。

オサムシ科甲虫捕獲調査

定山溪の森林の姿を知るために、昨年からおサムシ科甲虫捕獲調査を行っております。昨年は、森林総研の上田さんの指導の下で行いましたが、今年は上田さんが作ったマニュアルをもとに実施しました。

6月29日に仕掛けたピットフォールトラップを回収しました。さて、森の違いや変化がわかるでしょうか???



虫を真剣に見つめながら、イクラ箱に虫を並べます。皆さん黙々と作業中。



こんなに美しく並べてくれました。



箇所ごとに採れる虫の種類や数に違いが…結果の詳細は今しばらくお待ちください。



虫とは違うものも入っていました。これも生物の多様性です。

あいにくの雨の森林教室。
今回のテーマは「森づくりと森にくらすいきもの」の2つでした。
私達にとって迷惑な雨も、森にくらす生き物にとっては恵みの雨です。

次回は、無意根山の蛇ヶ原の森を見る予定です。
是非とも、お天気をお供に連れてきてください。